

## 四季が丘市民センター、 再オープン記念イベント 開催！



四季が丘市民センター  
所長 山田 浩史



四季が丘市民センターにおいては、エレベーター工事等により、11月からの4か月間、施設がすべて使えませんでした。その改修工事が無事に終了し、再オープンしたことをみなさんと喜びあおうという記念イベントを3月1日に行いました。

9時から玄関ロビーでセレモニーが行われました。3名の代表者挨拶のあと、「3、2、1」のカウントダウンの後、テープカットをしていただきました。

セレモニーのあとは、講堂で施設ビデオの視聴がありました。このビデオは新しくなった各施設の様子をお伝えするとともに、工事の苦労や工夫などをお届けしたいと思い、工事を請け負われた新枝建設の田村さんに私がインタビューするスタイルで「FMはつかいち76.1MHz」様のご協力により、事前に撮影していただきました。

その後のアトラクションでは、男女混声合唱の「Harmony四季が丘（ハーモニーしきがおか）」さんが、3曲の合唱を披露してくださいました。

その次は、「四季が丘における新たなるサル対策」という演題で、講師の方から話を伺いました。昨年末、陽光台でサル8匹が捕獲された後は、サルの出没情報は今のところないとのことですが、今後、群れからはぐれたサルが出没することが大いに考えられるので、そのときの住民の対応がとても重要になるとのことでした。地域をあげて、サルを追い払うなどして、サルの被害が起こらないようにするには、みなさん一人一人の協力とつながりが何より大切なのだなと感じました。



懇親会では、お弁当を食べながら雑談をするなかで、今後の四季が丘、そして、何より今後の四季が丘市民センターを温かく見守ってくださる方々の思いを感じました。また、当日は『廿日市市公衆衛生推進協議会四季が丘地区連絡会』様をはじめ、多くの団体のご協力がありました。ありがとうございました。

なお、3月1日の記念イベントとは別に、3月、4月を記念月間と位置づけ、5つの発表や活動があります。市民センターだよりで日時を確認してみてください。

これからも多くの方に四季が丘市民センターの新しくなった施設を見に来ていただきたいと思っています。そして、四季が丘市民センターが地域拠点の使命を果たすべく、職員一同努力してまいります。

引き続き、ご協力、ご鞭撻をよろしくお願ひ申し上げ、再オープン記念イベントの紹介いたします。どうもありがとうございました。



# とんど 4年ぶりに開催！

本格的規模

令和6年1月7日に四季が丘小学校グラウンドでコロナ禍前に近い形で4年ぶりにとんどが開催されました。

前日の準備では実行委員会と有志のメンバーで近隣の竹林の伐採許可を得て、竹を切り出し、四季が丘小学校グラウンドまで搬送し、組み立て作業を行いました。

豚汁、餅つき、生活文化部によるビンゴゲームや自主防災部により消火訓練と保健体育部による体力測定等のイベントが行われ、500人余りの来場者があり、豚汁、お餅の配布には長い行列ができました。



## スポーツイベントについて (保健体育部から)

数年ぶりの保健体育部のイベントということで、現在四季が丘のイベントで集客力のあるとんどと一緒に実施することとしました。

内容は安全に年齢を問わず簡単にできる、握力、立ち幅跳びなどのスポーツテストと、さらに四季が丘版ストラックアウトというゲームも併せて実施しました。

当日は多くの参加者に来ていただき、子供たちは一生懸命に跳ぼうとしていましたし、大人はなつかしい、といった感じでチャレンジしてくれる方が多くいました。

なかなか良いイベントだったと思いますので、次回は今回出た課題を整理し、さらにパワーアップしたイベントを企画できればと思います。

保健体育部 部長 齋藤 彰



## 自主防災部イベントについて (自主防災部から)

四季が丘で久しぶりに本格的に開催されたとんどにおいて、自主防災部では、四季が丘消防団と宮園消防団の全面的なご協力を得て、水消火器を使った「消火器の使い方の訓練」を実施しました。150人ほどの子どもさんを含め、約200人の方に実際の消火器を使った消化訓練を体験していただきました。実際に体験をされた方から、『楽しかったです』、『実際の火災発生時にはこの体験が役に立ちそうです』、『ありがとうございました!』といった温かいお言葉を数多くいただくことができました。夏祭りでの防災クイズ、防災倉庫見学会、防災キャンプ、消火器訓練等の場を通じて、子どもさんたちを交えた自主防災の意識が、この四季が丘の中にさらに高まってきてくれることを期待しています。

自主防災部 部長 吉岡 新



### 四季が丘自治連合会 各種団体の活動紹介



## 四季が丘井戸端会議



四季が丘自治連合会に所属する各諸団体の今後の活動について、ご紹介します。「広報四季が丘vol.1」では、四季が丘消防団のご紹介と団員募集、廿日市市公衆衛生推進協議会四季が丘地区連絡会の市民一斉清掃について紹介させていただきました。vol.2では、冒頭に四季が丘市民センターの再オープンの記念イベントについてご紹介し、ここでは四季が丘で公園の清掃などに取り組んでおられる「四季が丘井戸端会議」をご紹介します。

### ~四季が丘井戸端会議の変遷~

今から19年前、私は長い単身赴任を終え四季が丘に戻ってきました。余りの長い間、留守をしたため、四季が丘には誰一人知人がおらず、さてこれからの長い第二の人生をどのように過ごそうかと悩んでいた時、当時の四季が丘公民館の斎藤館長とお話をする機会があり、その旨を話したところ、館長から「これから団塊の世代が続々と定年を迎える。よって行政も今その受け皿づくり



四季が丘井戸端会議  
代表 石野 義之

として、地域デビュー支援をしている」とのことで、さっそく館長の知り合い何人かに声をかけていただきました。

当初5名ほどの人数が集まり、会の名称を決めることから始まり、その後、公民館の調理室で男の料理で一杯等活動を進めるうちに会員数も増え自然発生的に何か地域に貢献できることをしようとの提案がありました。

いろいろ模索する中で、当時四季が丘団地の中央にあるブルバールのサツキや、山茶花が大人の背丈ほど伸びており、団地のまん中といえ学生の塾帰り、また残業で遅くなった女性は危険すら感じる茂り具合で、この木の剪定から始めることとしました。作業は六丁目もくれん公園から、ポポロ公園まで、春夏年2回を実施しております。

他には、小学校の清掃活動、十丁目公園清掃、ピコバール等、当初は剪定バサミで手作業を行っていましたが、年々会員の高齢化が進み、効率を図るため電動バサミや草刈り機、発電機の導入を進めその保管のための倉庫購入等々、その費用の捻出のため会員から年間3,000円（現在は2,000円）の会費を徴収して運営に充てております。

この剪定活動は数えて15年ほどになりますが、8年ほど前にその活動が認められ、廿日市市よりアダプト制度（※）の認定を受けております。

この間地域の皆様にも温かいご理解をいただき、四季が丘自治連合会をはじめ、主にブルバール沿いの四、五、六、七と十丁目の町内会よりご支援もいただきました。

現在会員は女性5名、男性23名で活動をしております。そして会員の親睦を図るため、年1回の日帰り旅行や、食事会等を行い楽しい活動を心がけております。また常時会員の募集をしておりますのでお気軽にご相談ください。

今後も引き続き活動をして参りますので、よろしくお願いいたします。

（※）住民・企業等が主体となって清掃・草刈等の美化活動を中心に公共空間を「わが子のように面倒をみる」手法として制度化されたものを、一般的に【アダプト制度】と呼称し、既に国や多くの自治体で実施されているものです。

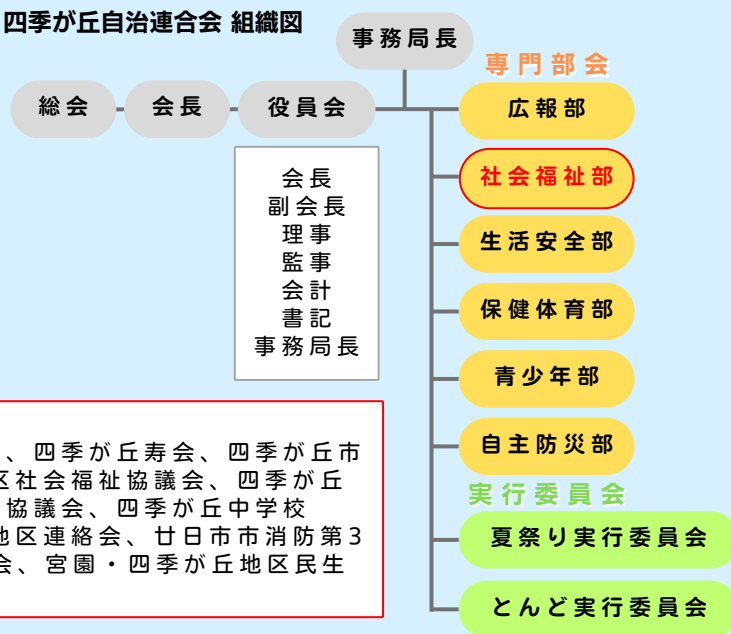
## お詫び

「広報四季が丘vol.1」で四季が丘自治連合会組織図についてご報告しましたが、間違いがありました。赤枠内の「社会福祉部」を「社会奉仕部」としておりましたので、お詫びして訂正させていただきます。また、併せて、前回省略しておりました各種団体も記載させていただきます。

### < 各種団体 >

四季が丘井戸端会議、四季が丘健康づくり応援団、四季が丘寿会、四季が丘市民センター、四季が丘小学校PTA、四季が丘地区社会福祉協議会、四季が丘地区人権啓発推進協議会、四季が丘地区地域安全協議会、四季が丘中学校PTA、廿日市市公衆衛生推進協議会、四季が丘地区連絡会、廿日市市消防第3分団第2部2班、廿日市市スポーツ推進委員協議会、宮園・四季が丘地区民生委員児童委員協議会（50音順）

### 四季が丘自治連合会 組織図



## 編集後記

本年度は新しく自治連合会が発足し、新たな取り組みとしての、それぞれの活動が始まりました。広報部におきましても、従来の「広報四季が丘」を踏襲しつつ、新たな取り組みとして地域で活動される各種団体のご紹介をしようと考えています。vol.2では地域活動と防災の拠点である市民センターが改築され、エレベーターと洋式トイレが新しく設置されたことをご報告いただきました。次年度は、さらに新しくなった四季が丘自治連合会ホームページとの連携を図りながら、地域の活動など情報提供に取り組んでいきたいと思っております。